

平成30年度こうよう会佐賀県支部「支部活動状況報告」

1. 肥前さが 幕末維新博覧会見学 PART I 「幕末維新記念館」

2018年は、1868年の明治維新から150年目にあたる節目の年。日本近代化への大きな転換点となった幕末維新期の佐賀は、大隈重信をはじめとする数々の偉人を輩出しました。そんな佐賀の偉人や彼らを生んだ佐賀の風土、歴史的背景を駆使して紹介するのが「肥前さが 幕末維新博覧会」です。

150年も前に九州・佐賀の地から「世界」を、そしてはるか先の「未来」を見つめていた偉人たちの輝かしい業績と当時の日本最先端を走っていた、肥前佐賀藩の科学技術を学びました。



アマチュア劇団による、「佐賀の七賢人」の寸劇。

当日の出演は、鍋島直正、江藤新平・大木喬任の3人でした。都を京都から東京に移すことを進言したのは、大木喬任だったそうです。

2. 懇親会

会場内にある「さが レトロ館」において、佐賀の旬な食材を使った料理をいただきました。
食事をしながら子供たちの話で懇親が図れました。



3. 肥前さが 幕末維新博覧会見学 PART II 「リアル弘道館」

大隈重信・江藤新平・副島種臣・大木喬任・島義勇・佐野常民など、近代日本の礎を築いた偉人たちが集い学んだ藩校「弘道館」を紹介するテーマ館を見学しました。

弘道館での学びをリアルに体験でき、「素読」に挑戦しました。

